

特集

「BSテレビ東京」始動



4K 時代の新・衛星放送へ挑む

2018年10月にBSテレビ東京はBSジャパンから社名を変更しました。また、この12月からはBS4K放送がスタート。大きく動き出したBSテレビ東京の現在について、代表取締役社長である石川一郎と同社の番組制作のキーパーソンからご説明をいたします。

■ BS ジャパンからBS テレビ東京へ社名を変更した狙いはどこにあるのでしょうか？

BS ジャパンという社名には開局から18年の歴史があります。設立当初は日本全国に衛星放送を広めようという思いを込め、また日本経済新聞との関係をアピールする狙いもあって「ジャパン」を社名に冠してきました。その効果はありましたが、一方でテレビ東京のグループだということをうまくアピールできてこなかった面もありました。

現在、テレビ東京グループでは、地上波放送とインターネット配信、そしてBS放送の一体運用の強化を推進しており、これを実現するには、あらためてテレビ東京との関係性を訴えていくことが重要だと考え、社名変更に至ったのです。

■ 社名変更を今年10月に行った理由は何でしょうか？

理由は二つあります。一つは2019年

4月に開局55周年を迎えるテレビ東京の開局55周年期間がスタートするのが18年10月だったということ。もう一つは、続く12月に、新4K衛星放送「BSテレビ東4K」のスタートを控えていたためです。新たな時代に、新たなサービスを提供していくにあたって、「テレビ東京」というブランドを持つ「他のテレビ局とは異なる番組づくりをする」という“挑戦”のイメージを持たせたかった。その一方で、日本経済新聞とタッグを組んできた経済ニュースの強みは残し“信頼性”を併せ持ったBS放送局にしたいというのがBSテレビ東京のスタートの大きな狙いなのです。

■ NIKKEIと培ってきた“信頼性”をさらにアピールしていくために、番組コンテンツはどのように強化するのでしょうか？

10月から、日曜日の朝9時30分に「NIKKEI日曜サロン」という番組が始まりました。政治ジャーナリストとして

(株)BSテレビ東京
代表取締役社長

石川 一郎

1980年4月に㈱日本経済新聞社入社。編集、総務部門に従事し、2015年3月に同社の専務取締役役に就任。2016年6月より現職。

経験豊富な日本経済新聞の芹川洋一論説フェローがキャスターを務め、政治や経済を中心とした世の中の重要な問題をテーマに、日本の進む道筋を示す本格的な討論番組です。今の日本のリーダーたちが、何を考えてどこへ向かおうとしているのかを明らかにし、視聴者の方々にも一緒に考えていただけることを意識してつくった番組です。

■ 4K 放送の開始は BS テレ東 東京に、どのような変化をもたらすのでしょうか？

4K は何といっても映像の美しさが売りです。これは、スポーツ中継で一層の強みを発揮すると考えています。4K 放送のスタート時点では、これまで2K でもお送りしてきたドラマや報道番組を中心に4K コンテンツをお送りしておりますが、将来的には、視聴者の方々の視聴環境も見極めつつ、設備環境などを整えたうえでスポーツ番組にも力を入れていく考えです。

テクノロジーの進化には後れを取らずスタートを切ることが大事だと考えます。今後、4K コンテンツが増えるにつれて、設備や現場での撮影の仕方、編集技法も進化していくでしょう。この進化はこれまでと全く違う領域となります。2020 年のオリンピック・パラリンピックという一大行事に向けて、そうした技術を研鑽していく時間の余裕が重要だと考えています。また、そうして培ったノウハウは、テレビ東京グループの今後のコンテンツづくりにも活かせるはずです。



■ 社名変更、そして4K 放送の開始という、心機一転のスタートにあたり、株主の皆様メッセージをお願いします。

社名の変更は、テレビ東京グループとして地上波放送、BS 放送、インターネット配信の一体運用を推進していくための大きな一歩となるものです。BS テレビ東京の社内は、新社名によるスタートとBS4K 放送への社会的な注目が相まって、社員の意欲は高まっています。BS 放送をもっと盛り上げ、さらに上を目指していこうと張り切っていますので、株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ひと皮むけてBSテレ東へ！



テレビの新たな可能性 **4K**

12月から放送が始まった4Kにまつわる疑問にお答えします。

4Kってどういうこと?

Q1 そもそも4K放送とは?

4KのKとは、映像の解像度を示す単位で、1Kは1000であり、4Kは水平画素数が約4000であることを表します。ちなみに現行の地上波・衛星放送は2K（フルHD）で、これを縦、横ともに2倍まで画素数を増やしたものが4K。つまり、同じ画面サイズで視聴するならば、従来の放送より4倍きめ細かな映像を楽しむことができるのです。

Q2 4K放送の特長は?

4K放送では、高解像度化に合わせて、表示できる色域も拡大されています。また、「HDR」（ハイ・ダイナミック・レンジ）という高輝度規格も採用され、従来よりも細かな明暗表現が可能となります。これらによって、人が実際に見たままに近い映像を放送することができ、視聴者の方に、より満足度の高い視聴体験を持っていただけるのです。

Q3 BSテレ東4Kを見るには?

現行のBSテレ東を視聴いただけている方は、新4K放送対応チューナーを内蔵した新4K放送対応テレビをご用意いただくか、4K対応テレビに新4K放送対応チューナーを接続いただくことで視聴が可能です。CATV経由でご覧いただいている方は、加入CATV業者にご確認ください。

※他局のBS4K放送を受信するには、アンテナの交換が必要な場合があります。

※新4K衛星放送が開始されても、従来の放送はこれまで通り継続され、現在のテレビで変わらず視聴することができます。従来の放送だけを受信するのであれば、この新4K衛星放送用の受信機を買う必要はありません。

4K 放送でドラマもスタートしています!

土曜ドラマ9

BSテレ東 土曜 夜9時



©「サイレント・ヴォイス」製作委員会2018

サイレント・ヴォイス
行動心理捜査官・楯岡絵麻

主な出演者：栗山千明、白洲迅、宇梶剛士

真夜中ドラマ

BSテレ東 土曜 深夜0時



©「江戸前の旬」製作委員会2018

江戸前の旬

主な出演者：須賀健太、渡辺裕之

ドラマBiz

BSテレ東 金曜 夜9時



ハラスメントゲーム

主な出演者：唐沢寿明、広瀬アリス、高嶋政宏

番組づくりに新たな道を示す映像技術

やはり4K放送は、映像の美しさが段違いです。これまで多くのテレビの進化を見てきましたが、これほどの変化には驚きを隠せません。資料用に4Kで撮影した隅田川の花火大会の映像を見ると、花火の光でわずかに照り返すビル群の影さえも見えます。また、4Kカメラは背景をぼかしやすいので、メインで映したいものが一層映えます。風景ものやドラマなどはその効果を大いに発揮するでしょう。こうした映像をお届けできるのは本当にうれしく思います。

映像が美しくなることで、撮影や編集の方法も変わると考えています。たとえばサッカー中継では、

これまででは、視聴者の方にボールの位置や個々の選手のプレーがわかりやすいように、カメラのアングルを頻繁に切り替えていました。しかし、4Kでは、広い画でも選手の動きなどが鮮明にわかるため、細かく画面を切り替える必要がありません。こうした変化は、スポーツ中継だけでなく、ドラマやその他の番組でも起こりうることです。4Kだからこそという番組をお届けしてまいりますので、ぜひBSテレ東4Kをお楽しみください。

(株)BSテレビ東京 技術局長
橋本 尚志



— 映像のプロフェッショナルが語る —

4K 放送の魅力

BSテレビ東京の4K放送を支える編成局、技術局のお二人に、4Kならではの魅力と今後の意気込みを伺いました。

ドラマの臨場感を増す、迫力の映像美

やはり、まずはドラマで4Kの素晴らしさを感じていただきたいと思います。役者の表情にあらわれる様々な感情が、4Kになることで、よりはっきりとわかるようになります。また、放送中のドラマ「江戸前の匂」では寿司桶に盛られたシャリのひと粒ひと粒がはっきりと見え、湯気が立つおいしさを感じることができます。新しいドラマだけでなく、過去に放送した作品の中にもすでに4Kで撮影していたドラマがあります。それらの再放送も順次行ってまいりますので、映像の違いを実感していただけます。

また、今後は、4Kの強みを活かせるスポーツ中

継を増やしていきたいと考えています。これまでテレビ東京グループでは、卓球や柔道に力を入れてきましたが、その他のスポーツも、4Kの高精細な映像でお届けすることで、今までとは異なる面白みが伝えられるはずです。日本経済新聞と連動した経済ニュースも、1月からはすべて4Kでお届けします。

BSテレ東4Kでは、いまだかつてない綺麗な放送をお届けしてまいります。視聴者、株主の方々には大いに期待していただきたいです。

(株)BSテレビ東京 編成局長
斎藤 勇

